

#### (4) 企業が望む人物像

- ① しっかりと話を聞き、理由を述べて自分の意見を伝える力（コミュニケーション能力）。
- ② 周りの人との関係を考えながら、信頼できる関係を作るチームワーク力（協調性）。
- ③ 素直に挨拶、時間厳守、相手に合わせた言葉遣い、マナーを守る等の力  
（基本的な生活態度・言葉遣い・マナー）。
- ④ 与えられた仕事だけでなく、前向きな姿勢で努力し、失敗を恐れず挑戦する力（積極性）。
- ⑤ 読み・書き・計算等の基礎学力と責任感。

☆多 人事担当者が是非とも高校生に伝えて欲しいという言葉を紹介！

『学校で評価されない者は、企業で評価されない！』

具体的な会社のホンネ一例！

採用側としては、採用試験を受けに来る高校生の「普段の生活態度」を見て知っておきたい。短時間で「自ら」をアピールするには相手に自分のことをうまく表現することが不可欠。例え面接時であっても「素の自分で勝負できるか」がとても重要です。「学校を無遅刻無欠席で、部活動を3年間続けている人」ならば即採用したい。学校生活をそのように送っている人は信頼感が持てる！

また、どんな業種でもお客様はもちろん同僚や上司など自分に関わる人はたくさんいて、すべての仕事は、人と人がつながって初めて完成する。他人やまわりの人に興味を持ちながら、自分がその時思うことをまず相手に伝えられるということが最低限必要になる。明るく、元気はもちろん、「積極的に自分から発信してコミュニケーションを取れる人」が望ましい。企業が求める協調性は、それぞれの役割を果たし「一つの目標に向かって」仲間と切磋琢磨するような強い協調性のことで、いい仕事がきつとできる。採用試験の際にきちんとPRできる人、探求心と向上心を持ち、素直に人の話が聞ける、失敗してもそれを肥やしに次へステップアップできる、前向きでチャレンジ精神旺盛な人、そういう人は伸びていきます。

#### —企業の人事担当者的話より—

「元気がない」「自己中心的」等のコミュニケーション能力や協調性がやや欠如している人は、配属先での仕事(環境)に大きく影響する(居心地が良くないと感じる)ことになり、長続きしない傾向にあります。短期間で身につくものではないから、不安な人は早期から意識して改善していくように努めてください。

(5) 企業が敬遠する人物像

- ① 無責任で、与えられた事を最後までできない人。
- ② 協調性がなく、我を通す人。与えられた仕事しかできない人。
- ③ 基礎学力（一般常識）が不足している人。
- ④ 自分の考えや意志を持たない人。
- ⑤ 欠席・遅刻の多い人。
- ⑥ 礼儀作法のない人（挨拶のできない人）。言葉遣いの悪い人。
- ⑦ 文字が乱雑で、誤字・脱字をよくする人。
- ⑧ 服装、頭髪その他、身だしなみがきちんとできない人。
- ⑨ 職業人としての認識に欠ける人。